

## 2015春季講演会(東海大)シンポジウム

### シンポジウムの主題(全体テーマ名)

日本語	フォトニクスと量子情報技術の融合へ向けて
英語(必須)	Quantum Photonics: Toward a new paradigm of quantum information technology

### 世話人

	氏名	所属	
1	岩本敏	東京大学	
2	早瀬潤子	慶応義塾大学	
3	根本香絵	国立情報学研究所	
4	小坂英男	横浜国立大学	
5	行方直人	日本大学	

### 企画の趣旨および内容説明

量子エレクトロニクス研究会と新領域グループ「量子情報研究」では、それぞれの興味、関心で共通する部分も多い。今回、その中から”量子情報技術に資するフォトニクス技術の展開と展望”をテーマとしてとりあげ、共同でシンポジウムを開催することを計画したので申請する。

様々な分野で“量子”とよばれる領域・分野が拡大しつつある。今回のシンポジウムでは、その中でも特に注目を集めているフォトニクス分野にフォーカスし、その技術に立脚した将来の量子情報技術を展望する予定である。具体的には、光の量子性の理解とその計測技術などへの応用、これらの量子的光を生成するデバイスまで、量子情報技術に関連するフォトニクス技術を幅広く取り上げる。これにより、量子情報技術の発展とフォトニクス科学・技術との融合を議論する場を提供する。

本シンポジウムでは、量子光学、原子光学、計測光学、量子物性、光制御、光デバイス、光源、光材料など、光・フォトニクス分野全般に加えて半導体光物性の研究者なども含めた幅の広い参加者層を想定しており、一般セッションにはないテーマ性の高いシンポジウムとなることを目指している。準備状況としては、数名の講演者には既に内諾を得ている状況である。